

(全国古民家再生協会島根第一支部 例会) 議事録

記録日：令和2年10月6日

記録者：勝部聡

団体名	一般社団法人全国古民家再生協会島根第一支部
開催日時	令和2年9月23日(水) 13:30~15:30
開催場所	出雲市民会館 304 学習室
出席者	支部長 金築邦彦 会員 (株)小林建設 小林悟様 (株)グッドライフ 吉留武志様 プラス1 技建(株) 田村勇様、内藤美登里様 日野工務店 日野義幸様 事務局 勝部聡
議事	<p>1, 開会宣言 支部長 金築 邦彦</p> <p>2, 宣言文唱和 吉留 武志</p> <p>3, 出席者確認 金築 邦彦 10月入会申し込み (有)日野工務店様 (株)エイシン他2名</p> <p>4, 支部長挨拶 支部長 金築 邦彦 出雲市との念願の協定が結ばれました。それに関する新聞報道等もあり 問い合わせが入っています。「自分の実家もシェアハウスの近くにあるので計画に入れてもらえないだろうか。」コミセンを通じて「自分のところも空き家でリフォーム済みだが、使ってもらえないだろうか。」と地元から2件問い合わせが入っています。関心をもっていたいたなど、今後も市民の皆様にセミナーを含め事業を認めて頂く、もしくは問い合わせをいただく、今後問い合わせが増えていくと、随時皆様にも相談窓口になっていただきながら活動を広げていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>5, 前回議事録の確認 支部長 金築 邦彦 8月分議事録を添付。メール送付</p> <p>6, 議題並びに資料の確認 支部長 金築 邦彦 出雲市との連携協定書(写し) 古民家再生議員連盟への提出資料(写し) 新聞記事(連携協定) 新聞記事(島根県立大学学生向けシェアハウス) 古民家鑑定士講習、試験のご案内</p> <p>7, 全国 報告事項 支部長 金築 邦彦 全報7-1 古民家再生議員連盟・議員懇話会開催に関して(報告) 8月25日限られた人数で開催。自民党・公明党の議員連盟開催 ダイジェスト版を公開(youtube)</p> <p>1. 空き家(古民家)を生かしたDIY改修の推進 国土交通省住環境整備室へ提案</p>

DIY をして田舎に移住するケースが増えている。これを推進して空き家問題を解決し、地方創生を推進していきたい。

2. キャンピングカーDIY でマイクロツーリズム、災害対策観光庁観光資源化へ提案

キャンピングカーをDIYで推進し、それを貸し出しして観光の拡大と災害時の対応に使えばどうか。

3. 空き家の耐震補助の拡充 国土交通省へ提案

継続して行っている事柄で、耐震工事に対して瑕疵保険はかかるにもかかわらず、耐震診断補助金、耐震施工の補助金が多く都道府県では認められていない。これを全国的に拡大し空き家、古民家の再生利活用の推進につなげていきたい。

4. 歴史ある古民家を生かした地域活性化 内閣府への要望

事例として千歳桜等、地元の議員さんには確認してもらっている。そのような案件も含めて日本文化の継承、将来のインバウンド観光資源の確保のために、その資源を残すことに対する予算化をお願いしたい。

5. 空き家（古民家）のセーフティネット住宅の拡充

空き家を活用した母子家庭向けのシェアハウスを国土交通省のモデル事業として採択して頂き、その推進を図っています。その推進は空き家対策のみならずセーフティネットの拡充につながります。

前回の会員大会で事例発表があった。売れない中古住宅があった。（接道がなくて再建築不可）この中古住宅を補助金を活用して母子家庭向けのシェアハウスへ改修した。4世帯分の母子家庭用の部屋をつくり、真ん中に子ども食堂をつくり、運営を地域のお母さん方が行い、子供たちに夕食を提供する。お母さんには有償で提供している。母子家庭向けのシェアハウスであります。セーフティネットの拡充という事であれば、福祉家庭や今回の県立大学学生向けのシェアハウスも該当していくのではないかと考えている。セーフティネットの拡充ということで採択されれば今後使える場面がでてくるのではないかと考えている。

6. 住教育推進で空き家発生抑制の推進

本年度の住教育月間に合わせ、10月25日に出雲でセミナーを開催します。そのときに使う住教育カードの推進が明記されるよう要望しています。今年度は30~40の支部でセミナーを開催する予定。

7. 古民家再生議員連盟に対しては、JTБの田川会長がセミナーを

おこなわれたもののレジメ。例えば企業版ふるさと納税、これは出雲市との連携協定ができたので受け皿になることができれば、空き家を活用したプロジェクトに対して企業が寄付をおこない、その企業が寄付の9割控除される仕組み。例えばその寄付で観光目的の施設を整備したとすると、寄付した企業はその施設を研修で使用することができる等のリターンがある。須佐の郵便局舎後については、東京に須佐に寄付をされる熱心な企業があり、うまくすすめば研修やテレワークに利用していただければと考えている。

8. 住生活基本計画の見直しに古民家再生協会がかかわりたい

9. 古民家を活かした地方経済活性化に関して

10. アフターコロナの空き家古民家等を活かした観光に関して
各省庁への要望を古民家再生議員連盟へ

全報7-2 第2回古民家ツーリズム推進協議会自治体向け勉強会に関して（報告）

8月25日開催。出雲市・松江市に案内していたが不参加。

全国各地の自治体が参加し。JTB 田川会長から話があったようです。

全報7-3 CPD 認定講習制度 終了に関して（継続）

いままで古民家鑑定士のチラシに建築士のCPD取得が出来ると書いてあったが、8月をもって終了となりました。これにともない古民家鑑定士講習、試験の案内もリニューアルされました。

全報7-4 2020年度後期入会に関して

9月4日に日野工務店社長さまと9月16日エイシン三原様にweb面談をしていただきました。そののち入会申込書を作成し送付いたしました。坪倉さんと内藤さんは一般会員ということで、2社2名の申し込みを完了しています。現在会員が法人、個人合わせて9名となりましたので、あと1名で10名となります。今期末までに10名の会員を目指します。

全報7-5 出席報告の徹底に関して

事務局にて議事録作成。本部へ報告しています

全報7-6 各種スケジュールに関して

古民家鑑定士講習、試験は、支部にて2カ月に一度開催しております。現在9月が2名、11月が1名の申込者ということで、もう少し増やしたいので、皆様お声がけをお願い致します。

伝統再築士講習スケジュールはオンラインでの受講も可能です。受業社会員は伝統再築士をもたなければなりません。日野社長、三原社長にもWEB受講の申し込みをしていただいています。これで審査が通る形になります。既存の会員で伝統再築士がおられないところは、web講習

を受講して下さい。対面での講習は遠方でしかしておりません、web講習は月2回実施しておりますので、受講をお願いします。

空き家課題トータルコンサルタント、古民家ツーリズムまちづくりプランナーについては、事務局勝部が取得しています。空き家問題の入り口部分、片付けや仏壇、相続についての相談ができる資格で、今後相談があった場合有利です。一方NPO出雲市空き家相談センターは専門家はあるが窓口がすべてわかれている。相談内容によって相手が変わるため、相談する側にとっては負担が大きい。窓口になってあげてアドバイスして、各専門家につなげてあげる。これは非常に有効なツールとなりうるので今日みなある方は受講してください。

Youtubeで事業導入社(加盟企業)を配信中は、リレーで配信されています。全国の成功事例、失敗事例が配信されていますので興味のあるかたは、ぜひご覧ください。

全報7-7 メルマガサービスに関して

井上顧問がオンラインでおこなっている。これも非常に面白い内容となっておりますので、ぜひご登録ください。

全報7-8 その他

メディアへの掲載情報がのっています。

8, 支部報告事項 支部長 金築 邦彦
支報8-1

・出雲市との連携協定

9月10日(木)16時～ 市役所にて調印式

古民家再生協会 支部長、小林さん、岩崎さん、吉留さん

そのときの写真と新聞記事を別紙にて

空き家対策室から市民向けのパンフレットがないか要望があり、本部に問い合わせたところ、空き家アドバイザー協議会のチラシが送られてきました。ただ出雲にはその協会がないため(その協会はNPOのような会員でなくても参加できるもの)、それができれば、それに再生協会の名前をのせて一般市民向けに配れるのかと思っています。

・県立大学出雲キャンパスシェアハウス事業

9月7日に所有者が帰省し、事務局勝部が相続の手続等相談しました。その後、現地にて処分品の確認を行いました。8日に島根県建築住宅課と現地片付けの準備を行い、11日9時半～16時に片付け作業を実施しました。会員から小林さん、岩崎さん、吉留さん、御船組から小川が参加。そのほか建築住宅センター、島根県建築課、出雲市空き家対策室、島根大学から先生2名、学生4名、建物の管理者の郷原さん夫妻、その他ボランティア含め総勢

約 20 名で行いました。その写真を別紙資料でお配りしています。当日は軽トラックで 5 台分くらい処分をおこないましたが、まだ残置物が大量にあるため、その片づけを 10 月 1 日に 4, 5 名で行う予定です。その後、もう一度 10 月中に片付けワークショップを行う予定です。その際は会員の皆様にお声がけを致しますので都合が付けば参加をお願い致します。10 月 2 日には、玄関、台所、前の間 2 間、トイレのクリーニングを行う予定です。その後は、現地で会議を行い、11 月 1 日は島根大学の学生、先生を含めて設計ワークショップを行う予定です。9 月 17 日、18 日には先進地視察として広島県三原市でシェアハウスを 2 件視察しました。いずれも学生向けのシェアハウスで、できて 3 年位たつものと今年できたものでした。女性専用の物件はかわいい仕上がってありました。入居している学生と話しもしましたが、近隣の方と親しくなったということで、まさしく理想的なシェアハウスでした。大学へ通うのに坂道を登らないといけないため、1 人 1 台電動自転車を貸与したり、ドライバーを 1 人 1 台配ったり、入居促進のサービスを考えてあったり、改修費用を考慮して和室ではなく洋室にしたりと運営の工夫も参考になりました。この 2 件とも整備するときに三原市の補助金 (400 万円) かつ三原市以外から転入してくることと地域の活動に参加することを条件に市から月額 5 千円の補助をうけることができるという話でした。今後、このような整備補助金や移住、定住促進に関して出雲市に対してお願いしようと考えています。今回の連携協定に熱心にかかわってくれた議員さん等に他の事例を見て頂いて働きかけをしていく予定です。

・セミナーチラシ

10 月 25 日住教育セミナーのチラシについて、追加で配っていただけの方は、ぜひ配布をお願いします。地域のコミュニティセンター等にもおいていただければと思います。今後出雲市報やリビング島根、島根日日新聞で告知予定です。定員 60 名で 40 名は集客したいので広報活動をお願い致します。

・猪目飯島家

具体的には進展していないが、鰐淵コミュセンのセンター長と面談したり接点は持つようにしている。10 月 11 日の猪目神楽に飯島さんがボランティアとして帰ってこられる。できることは協力して、地元に求めて頂けるように活動していく。

9, 支部協議事項
彦

支部長 金築 邦彦

審議 9-1

- ・セミナー周知協力について

チラシ配布の協力をお願いします。

- ・前日および当日の役割分担について

具体的に準備しないといけないものはないが、今後講師とつめていくが、プロジェクターに移す資料は講師が用意します。第1部は講師のお話で終了予定です。第2部は住教育カードを使ったカードゲームです。問題提起するような内容で、皆さんの考えを促すものでディスカッションするものですが、これも開催方法については検討をしているところです。例えばカードをスクリーンに映して参加者の皆様にマイクを向けるといった内容です。これについては坪倉さんを先頭にやっていただければと思います。最初の挨拶や講師の紹介は支部長が行い、インストラクターの坪倉さんには自己紹介をしてもらい、会員の皆様には予約の受付を2名で、検温や手指の消毒を2名で担当して頂く予定です。会場設営はパルメイトに依頼しています。12時から会場に入れますので、13時30分に開始できるよう準備をすすめていきます。

河野さんが前日にこられるので、会食を予定しています。

- ・シェアハウス事業片付けワークショップ

あらためて連絡いたします

10, 確認事項

支部長 金築 邦彦

彦

確認 10-1

- ・10月例会

10月16日(金) 15時～ 出雲市民会館 304号室

- ・古民家鑑定士講習、試験

9月29日、11月25日、1月29日開催

11, 学習プログラム

支部長 金築 邦彦

伝統工法の各部位

1. 塗料
2. 天井形状
3. 天井仕上
4. 床
5. 畳
6. 屋根
7. 小屋組みと軒先
8. 室礼(しつらい)
10. 床の間
11. 床脇
12. 床脇の部材
13. 付け書院
14. 建具

	15. 格子 16. 古民具 17. 箱木家住宅 12, その他 13. .閉会宣言 支部長 金築 邦彦
決定事項	10月24日 会食 10月25日 住教育セミナー 12時集合
次月開催日時	令和2年10月16日(金) 15:00~17:00
次月開催場所	出雲市民会館 304 学習室
次月議事内容	支部報告事項進捗確認、情報交換

9月度例会の様子



